秋色のベルリン 8 日間｜旅行のご案内

2026 年 10 月 13 日発　ベルリン 6 連泊・ポツダム・シュプレーヴァルト

❖ 今回のご旅行についてのご案内

1. 気候・服装・携行品について

■訪問都市の気候について（例年の平均最高・最低気温と月間降水量の目安です。）

都市名	項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ベルリン（約 35m）	最高（℃）	3	4	8	14	19	22	24	24	20	14	8	4
	最低（℃）	-2	-1	1	5	9	13	15	15	11	7	3	0
	降水量（mm）	56	41	53	42	60	67	81	62	56	49	48	54
東京（日本）	最高（℃）	10	11	15	20	24	27	31	32	28	22	17	12
	最低（℃）	2	2	5	10	15	19	23	24	20	14	9	4
	降水量（mm）	60	57	116	134	140	168	156	155	225	235	96	58

※数値は例年の気候の目安で、旅行期間中の予報ではありません。 ご出発前に最新の天気予報をご確認ください。

- **●ベルリンの 10 月中旬の気候:**
  今回の旅行は **10 月 13 日〜20 日**で、ベルリンでは秋が深まり、 黄葉が見頃を迎える時期です。 10 月の平均最高気温は約 14℃、平均最低気温は約 7℃ですが、 今回訪れる 10 月中旬は、日中でも 12〜14℃前後、 朝晩は 5〜8℃前後まで下がることがあります。 東京の同じ時期よりかなり涼しく、天候によっては **東京の 11 月中旬〜下旬頃を思わせる寒さ**となることがあります。
- **●10 月 13 日発の服装:**
  長袖シャツやカットソー、セーター、フリースなどを基本に、 **ライトダウンや防風性のあるジャケット、薄手〜中程度のコート**を 重ねられる服装がおすすめです。 晴れて風の弱い日の日中は上着を脱いで過ごせることもありますが、 曇天や雨の日、朝晩は気温以上に寒く感じられます。 脱ぎ着しやすい「重ね着」で調節できるようご準備ください。
- **●【重要】朝晩・風のある日の防寒対策:**
  ベルリンは平坦な都市ですが、秋は風が吹くと体感温度が下がります。 特に朝の出発時や夕方以降は冷え込むことがありますので、 **ライトダウン、フリース、防風性のある上着**などがあると安心です。 寒さが苦手な方は、薄手のマフラーやストール、手袋なども お持ちいただくことをおすすめします。
- **●ベルリン市内観光・美術館巡り:**
  今回はベルリンに 6 連泊し、市内観光や美術館巡りを行います。 屋外では肌寒くても、美術館や博物館、レストランなどの屋内は 暖房が入っている場合があります。 厚手の服を一枚だけ着るよりも、 **セーターやフリース＋上着など、屋内で簡単に脱げる服装**が便利です。
- **●ポツダム・シュプレーヴァルト観光時:**
  郊外のポツダムや水郷シュプレーヴァルトでは、 ベルリン中心部より風や冷気を感じることがあります。 特にシュプレーヴァルトでは水辺で過ごす時間がありますので、 **風を通しにくい上着**をご用意ください。 天候によっては日中でも 10℃前後となる可能性を考え、 市内観光の日より一枚多く着られる準備があると安心です。

- **●雨具について：**
  10 月のベルリンは日本の秋ほど降水量は多くありませんが、 曇天や小雨となることがあります。 **折りたたみ傘**をご用意ください。 また、風を伴う雨の場合には傘だけでは濡れやすいため、 撥水性のあるウインドブレーカーや **フード付きの軽量レインウェア**も便利です。
- **●履物について：**
  ベルリン市内では美術館や博物館を巡るほか、 ブランデンブルク門周辺など市内を徒歩で観光します。 ポツダムなどでも庭園や石畳を歩くことがありますので、 **靴底に滑り止めがあり、履き慣れたスニーカーや ウォーキングシューズ**をご用意ください。 雨天時を考えると、多少の撥水性がある靴が便利です。
- **●乾燥・日差し対策：**
  秋のベルリンは東京より空気が乾燥して感じられることがありますので、 **リップクリームやハンドクリーム**などがあると便利です。 また、秋でも晴天時には日差しがまぶしく感じられることがありますので、 サングラスなども必要に応じてお持ちください。
- **●その他の携行品：**
  常備薬、折りたたみ傘、リップクリームなどをご用意ください。 スマートフォンやカメラ用のモバイルバッテリー・予備バッテリーなど リチウムイオン電池を使用した製品は、 **預け入れ荷物には入れず、機内持ち込み手荷物として** お持ちください。

2. 電圧・プラグの型について

ドイツの電圧は 230V・50Hz。コンセントは C・F タイプです。日本の A タイプのプラグはそのまま使えません。C タイプの変換プラグを 1〜2 個ご用意ください。

充電器の入力表示が「100–240V、50/60Hz」なら通常は変圧器不要です。日本国内専用の 100V 製品は使用しないでください。複数ポート付きの海外電圧対応充電器が便利です。

3. 通貨・両替について

■ドイツの通貨と決済事情

国・地域名	現地通貨名	略称	補助通貨
ドイツ	ユーロ	EUR / €	1 ユーロ＝100 セント

【重要：ユーロ現金とクレジットカードについて】

ドイツでは**ユーロ（EUR / €）**を使用します。 ベルリンではホテル、デパート、スーパーマーケット、 博物館・美術館、比較的大きなレストランなどで クレジットカードやタッチ決済を広く利用できます。

一方、小規模な商店や飲食店、売店などでは **現金のみ、またはカード利用に最低金額が設定されている場合**があります。 自由行動時に小さなカフェや商店などを利用することも考え、 クレジットカードだけに頼らず、 **5 ユーロ、10 ユーロ、20 ユーロ札を中心とした少額のユーロ現金**も ご用意ください。

●現金の両替について：
ユーロは日本国内の銀行や空港の両替所などでご用意いただけます。 現地でも ATM からユーロを引き出すことができますが、

カード会社や ATM によって手数料がかかる場合があります。 ベルリン到着後すぐに使用する可能性もありますので、 **ある程度の少額ユーロ現金は出発前に日本でご用意いただく**と安心です。

●クレジットカードについて：

Visa、Mastercard などの国際ブランドのカードをお持ちください。 ベルリンではタッチ決済にも対応した店舗が増えています。 暗証番号（PIN）の入力を求められる場合がありますので、 出発前に暗証番号をご確認ください。 また、カードの不具合や紛失などに備えて、 **異なるブランドのカードを 2 枚程度**に分けてお持ちいただくと安心です。

●カード利用時の通貨選択について：

カードでのお支払い時や ATM 利用時に、 「日本円（JPY）」と「ユーロ（EUR）」のどちらで決済するか 選択を求められる場合があります。 日本円建てでは店舗や ATM 側が設定する換算レートが 適用される場合があるため、 通常は**「EUR（ユーロ）」を選択**してください。

●現金・カードの管理について：

現金やクレジットカードは 1 か所にまとめず、 必要な分だけを財布に入れて分散してお持ちください。 また、50 ユーロ札や 100 ユーロ札などの高額紙幣は、 小規模な店舗やカフェなどでは使いにくい場合があります。 **5 ユーロ、10 ユーロ、20 ユーロ札**を中心に お持ちいただくと便利です。

●チップについて：

ドイツでは、レストランやカフェなどでサービスに満足した場合、 料金の端数を切り上げたり、 料金の **5〜10%程度**を目安にチップを渡す習慣があります。 テーブルサービスのレストランでは、 会計時にチップを含めた支払総額を係員に伝える方法が一般的です。 カードで支払う場合も、決済前に希望する合計金額を伝えます。

※ツアー中のバス、現地ガイド、団体でのお食事に関する 基本的なチップは旅行代金に含まれています。

4. 物価について

物価目安（1 ユーロ ≒ 185 円）

項目	現地価格（目安）	日本円換算
ビール（500ml／レストラン）	4.50 〜 6.00 EUR	約 830 〜 1,110 円
グラスワイン（レストラン）	5.50 〜 8.50 EUR	約 1,020 〜 1,570 円
アプフェルショーレ	3.50 〜 5.00 EUR	約 650 〜 925 円
コーヒー／カプチーノ（カフェ）	3.80 〜 5.50 EUR	約 700 〜 1,020 円
水（500ml／スーパー）	0.50 〜 1.50 EUR	約 90 〜 280 円
コーラ等（レストラン）	3.00 〜 5.00 EUR	約 560 〜 925 円

飲料文化の基本

ドイツではビールをはじめ、ワインや炭酸水などさまざまな飲み物が 日常の食文化に根付いています。ベルリンではドイツ各地のビールに加え、 地元ならではの飲み物も楽しめます。

ビール（Bier）： ドイツは地方ごとに特色あるビール文化があります。 ベルリンでは一般的なピルスナーやヴァイツェンなどに加え、 ベルリン伝統の酸味のある小麦ビール「ベルリナー・ヴァイセ（Berliner Weisse）」も知られています。 レストランやビアホールでは 0.3L、0.5L などサイズを選べることもあります。

ワイン（Wein）： ドイツではライン川・モーゼル川流域などで造られる リースリングをはじめとする白ワインが有名です。 ベルリンのレストランでも、ドイツ各地のワインを グラスで気軽に楽しめます。

アプフェルショーレ（Apfelschorle）： リンゴジュースを炭酸水で割ったドイツでポピュラーな飲み物です。 甘さが比較的控えめで、食事中のソフトドリンクとしてもよく飲まれています。

炭酸水文化： ドイツでは炭酸入りのミネラルウォーターが広く飲まれています。 レストランでは炭酸入り・炭酸なしを選ぶことが多く、 炭酸なしを希望する場合は 「Still（スティル）」または 「Ohne Kohlensäure（オーネ・コーレンゾイレ）」と伝えます。

水： ベルリンの水道水は飲用できますが、硬水です。 ミネラルウォーターはスーパーや売店などで購入できます。 また、ペットボトルや瓶の多くには デポジット（Pfand／プファンド）が加算されており、 スーパーなどの回収機に空容器を返却すると返金されます。

外食の目安

- ・ランチ：15 〜 25 EUR（約 2,780 〜 4,630 円）
- カジュアルなレストランやカフェで、 メイン料理と飲み物を注文した場合のおおよその目安です。 軽食店やパン屋、テイクアウトなどを利用すれば、 より手頃に済ませることもできます。
- ・ディナー（一般的なレストラン）： 35 〜 60 EUR （約 6,480 〜 11,100 円）
- メイン料理 1 品にビールやワインなどを楽しんだ場合の目安です。 ドイツ料理には比較的ボリュームのある料理も多いため、 メイン料理 1 品でも十分な場合があります。
- 注意
- ・レストランの水は基本的に有料： 日本のように無料の水が自動的に提供される習慣はありません。 水を注文すると、通常は有料のミネラルウォーターが提供されます。
- ・現金もご用意ください： ベルリンではカードやタッチ決済が広く利用できますが、 小規模な飲食店、カフェ、パン屋、売店などでは 現金のみの場合があります。 少額のユーロ現金も携帯しておくと安心です。
- ・ビール文化： ベルリンでは地元のビールだけでなく、 ドイツ各地のさまざまなビールを楽しめます。 0.3L や 0.5L などサイズを選べる場合も多くあります。
- ・チップのマナー： ドイツではサービスに満足した場合、 料金の端数を切り上げたり、 5〜10%程度を目安にチップを渡すのが一般的です。 現金払いでは、お釣りが不要な場合に 「Stimmt so（シュティムト・ゾー）」と伝えることができます。 カード払いの場合は、決済前にチップを含めた 支払総額を係員に伝えるとよいでしょう。